

よるよる
YORU YORU

医療と介護の奥にある、
福島の暮らしを考える

第一夜 それぞれの「困った」を持ち寄る夜

「医療・介護×まちづくり」からはじまる、福島の新しいワクワク。



講師:猪狩 僚
(合同会社ソラリコ代表
／いわきの地域包括ケア「Igoku」)

福島市には、さまざまな人の思いや活動、そして日々の「困った」があります。
今回は、いわき市で「igoku」の活動を生み出してきた猪狩僚さんをお迎えし、人と人がつながり、地域が動き出すためのヒントを伺います。
福島の良いところや、もっとこうなったらいいなと思うこと。
立場を越えて、みんなで一緒に考えてみませんか。

日時:11月26日(木) 18:30~20:30
(受付 18:00~)

場所:福島市民センター大ホール
対象:各団体の会員どなたでも

参加費
無料

締め切り:11月20日(金)

【申し込み方法】

右QRコードから専用申込フォームにて、またはFAXにて11/20までにお申込み下さい。

■Email: frenkezaitachi@gmail.com ■FAX 024-572-6672



事業所名:

連絡先:

氏名	職種	氏名	職種

問い合わせ:福島市在宅医療・介護連携支援センター(在タッチ)024-572-6671

【福島市医療と介護のネットワーク】当会構成団体(順不同)

福島市医師会、福島歯科医師会、福島県看護協会 県北支部、福島薬剤師会、福島県医療ソーシャルワーカー協会 県北支部、福島県精神保健福祉士会 県北・相双支部、福島県訪問看護連絡協議会 県北支部、福島市介護支援専門員連絡協議会、福島市地域包括支援センター連絡協議会、福島県社会福祉士会 県北支部、福島県介護福祉士会 県北支部、福島県理学療法士会 県北支部、福島県作業療法士会 県北支部、福島県言語聴覚士会 県北支部、福島県歯科衛生士会 福島支部、福島県栄養士会 県北支部、日本義肢装具士協会 東北支部、福島市社会福祉協議会、福島市訪問介護事業所連絡会、福島市



行政と地域の「間」に立つ、まちづくりの実践者

猪狩 僚氏

いがり・りょう

合同会社ソラリコ 代表

元・いわき市役所職員 / 「igoku」創刊編集長

「縦割りを飛びこえて、行政と地域の『間』に立つ」

23年間の自治体行政経験とソーシャルデザインの力で、医療・介護・福祉と地域をつなぐ。

PROFILE | 略歴

1978年、福島県いわき市生まれ。大学卒業後、ブラジル留学を経て2002年いわき市役所に入庁。水道局、公園緑地課、財政課、行政経営課などを経て、2016年に地域包括ケア推進課へ配属。2017年、地域包括ケアを市民にひらくコミュニティデザインプロジェクト「いわきの地域包括ケアigoku(いごく)」を立ち上げ、創刊編集長を務める。2019年グッドデザイン賞金賞・ファイナリスト第5位を受賞。その後、介護保険課、地域医療課などを経て、2025年7月に独立。合同会社ソラリコを設立。

WORKS | 主な実績・プロデュース事業

01

地域包括ケア 「igoku」



「死ぬ」「ジジイになる」などを入りに、医療・福祉を市民の「我が事」へ。Web・フリーペーパーや「igokuフェス」を展開。

02

いつだれ kitchen



食材・スペース・悩みをシェアするコミュニティ食堂。支援する側／される側を固定しない、多世代の支え合いの場を実践。

03

認知症 あんしんナビ



複雑な認知症ケアパスを、スマホから相談窓口や医療機関へつながるシンプルなWebサービスに。いわき市に導入、全国展開中。

【福島市医療と介護ネットワークとは】

本会は、「福島市に暮らす一人ひとりの希望と選択を尊重し、その人が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、地域包括ケアシステムの深化と共生社会の実現に寄与する」ことを目的の旗印に掲げ、19の職能団体と福島市により2022年度に組織化した団体です。

【医療と介護のネットワークの構成団体】(順不同)

福島市医師会、福島歯科医師会、福島県看護協会 県北支部、福島薬剤師会、福島県医療ソーシャルワーカー協会 県北方部、福島県精神保健福祉士会 県北・相双支部、福島県訪問看護連絡協議会 県北支部、福島市介護支援専門員連絡協議会、福島市地域包括支援センター連絡協議会、福島県社会福祉士会 県北方部、福島県介護福祉士会 県北方部、福島県理学療法士会 県北支部、福島県作業療法士会 県北支部、福島県言語聴覚士会 県北支部、福島県歯科衛生士会 福島支部、福島県栄養士会 県北支部、日本義肢装具士協会 東北支部、福島市社会福祉協議会、福島市訪問介護事業所連絡会、福島市(事務局:福島市在宅医療・介護連携支援センター)